

第1 総括事項（公益目的事業）

公社は、愛知県内における上下水道施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開催年月日 開催内容	審議事項		議決内容
平成31年4月1日(月) 第29回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3	常務理事の選定について 重要な使用人の選任について 第24回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
平成31年4月15日(月) 第24回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員及び評議員の報酬額の決定について	原案どおり同意
令和元年5月31日(金) 第30回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 報告事項	平成30年度事業報告について 平成30年度決算について 就業規程の一部改正について 第25回評議員会の目的である事項に係る議案（役員の選任）について 第25回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
令和元年6月28日(金) 第25回評議員会	第1号議案 第2号議案 ～第14号議案 報告事項	平成30年度決算について 役員の選任について 平成30年度事業報告について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり了承
令和元年6月28日(金) 第31回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3	理事長の選定について 常務理事の選定について 重要な使用人の選任について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和2年1月22日(水) 第32回理事会 決議の省略による	提案事項	第26回評議員会の招集について	原案どおり同意

令和2年2月5日(水) 第26回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員の報酬額の改定について	原案どおり同意
令和2年3月27日(金) 第33回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 報告事項	令和2年度事業計画について 令和2年度収支予算並びに資金調達 及び設備投資の見込みについて 事務局組織規程の一部改正について 事務決裁規程の一部改正について 就業規程の一部改正について 職員の給与及び旅費に関する規程の 一部改正について 第27回評議員会の目的である事項 に係る議案(評議員、理事の補欠選任) について 第27回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
令和2年3月27日(金) 第27回評議員会	第1号議案 ～第4号議案 第5号議案 報告事項1 報告事項2	評議員の辞任に伴う補欠選任につい て 理事の辞任に伴う補欠選任について 令和2年度事業計画について 令和2年度収支予算並びに資金調達 及び設備投資の見込みについて	原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承 原案どおり了承

2 評議員の異動

異動年月日	評議員名	氏名	摘要
平成31年4月1日	評議員	高橋 裕輔	就任
	評議員	岩瀬 広三	就任
	評議員	青木 勉	就任
	評議員	佐野 武史	就任
	評議員	外山 伸一	就任
	評議員	杉本 尚久	就任
	評議員	牧野 治	就任
令和2年3月31日	評議員	金子 隆美	辞任
	評議員	岩瀬 広三	辞任
	評議員	斉藤 清勝	辞任
	評議員	外山 伸一	辞任

3 理事の異動

異動年月日	役員名	氏名	摘要
平成31年4月1日	理事	高木 淳	就任
	理事	榊原 伸尚	就任
	理事	永渕 貴徳	就任
	理事	丹羽 信之	就任
令和2年3月31日	理事	鈴木 茂彦	辞任

4 監査の実施

実施年月日等	事項	摘要
令和元年5月29日	平成30年度事業報告について 平成30年度決算報告について	監事 倉本 繁八 監事 菅沼 利元
毎月	例月監査	監事 菅沼 利元
四半期	四半期監査	監事 菅沼 利元 監事 倉本 繁八

第3 平成31年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した11流域下水道（豊川、五条川左岸、境川、衣浦西部、矢作川、衣浦東部、日光川上流、五条川右岸、新川東部、日光川下流及び新川西部）について、指定管理者として、適正な運営管理事業を実施し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図りました。

豊川浄化センターと矢作川浄化センターで、冬場に低下傾向を示す三河湾の栄養塩類の濃度を回復させ、漁業生産の維持安定化を図るため、10月から3月までの6カ月間、リン濃度を適切に管理する試験運転を行いました。

アセットマネジメントシステム(ISO55001)を全流域で運用して、業務の改善に意欲的に取り組みました。

(ア) 水処理業務

各市町より流入する下水を適切に処理し、良好な処理水質を確保するため以下の業務を実施しました。

- a 汚水ポンプ、最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池、薬品混和池、ブロワなど各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 汚水の各処理段階での状況確認や調査分析結果などを基に、コスト低減及び、省エネルギー等に考慮した処理計画を立案し、運転管理を行いました。また、流入水の水質や水量の変動に対して迅速な状況判断による運転操作を行い、適切な処理を実施しました。
- c 放流水質については、各種の分析試験及び測定を行い、法令等の基準の遵守を確認しました。

(イ) 汚泥処理業務

水処理の過程で発生した汚泥の適切な処理処分を行う為、以下の業務を実施しました。

- a 濃縮槽、脱水機、汚泥焼却設備など各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 発生した汚泥について成分等の分析を行い、処理処分に対する法令等の基準の遵守を確認しました。
- c 汚泥の有効利用として、民間企業によりセメントや肥料等の原料として再生利用しました。

(ウ) 計測点監視業務

計測点における水量、水質についてテレメータによる常時監視と定期巡回を実施し、流量の測定、悪質下水の監視及び流入防止に必要な措置を講じました。

平成 31 年度 流入水量及び汚泥発生量

浄化センター名	流入水量 (千m ³)	汚泥発生量 (t)	焼却灰発生量 (t)
豊川浄化センター	25,828	13,408	1,092
五条川左岸浄化センター	26,441	16,393	644
境川浄化センター	59,791	45,466	—
衣浦西部浄化センター	20,349	17,393	829
矢作川浄化センター	82,259	64,116	2,483
衣浦東部浄化センター	9,324	8,133	—
日光川上流浄化センター	14,219	11,444	—
五条川右岸浄化センター	8,918	7,797	—
新川東部浄化センター	3,732	3,177	—
日光川下流浄化センター	6,294	4,474	—
新川西部浄化センター	1,084	993	—
合 計	258,239	192,794	5,048

※表示桁数未滿は四捨五入のため、合計値と合わないことがあります。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的な維持管理やコスト削減等に資するため、汚水処理及び汚泥処理などに関して、以下のテーマで調査研究を行いました。

- (ア) AI 技術を用いた下水道運転管理の効率化に関する研究
- (イ) 二階層沈殿池における上下層の流量調整に関する研究

(2) 下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

広く県民の皆さまに下水道への理解と関心を深めていただくとともに、下水道への接続利用の促進を目的として、各浄化センターで「処理場見学」や「夏休み親子下水道教室」を開催しました。

また、県が小学校へ出向いて下水道の授業を行う「下水道出前講座」、各流域下水道推進協議会主催の「普及啓発イベント」に参加協力しました。

その他、名古屋文理大学において、管理栄養士を目指す学生を対象に特別講義や、大学祭にて来場者に対し簡易試験による汚れの測定や下水道に関するクイズを実施し、啓発活動を行いました。

- (ア) 処理場見学
見学者：5,755 名
- (イ) 夏休み親子下水道教室
参加者：9 浄化センター合計 368 名
- (ウ) 下水道出前講座（県への協力）
参加者：8 校 411 名
- (エ) 普及啓発イベント（各流域下水道推進協議会への協力）

来場者数：延べ 11,013 名

(オ) 名古屋文理大学の特別講義

実施日：令和元年 7 月 8 日・7 月 10 日 参加者数：81 名

名古屋文理大学で下水道（厨房排水）について講義するとともに、学生と一緒に料理の美味しさと排水負荷低減を両立する調理方法について検証することで、環境に与える負荷について啓発を行いました。

イ 下水道科学館（愛称メタウォーター下水道科学館あいち）の運営

アクティオ（株）との共同体で指定管理者として運営管理を行っている下水道科学館において、8 月「夏だ！ワクワク科学館まつり」、12 月「エッピエ祭」を始め、さまざまなイベントや体験学習会、観察会などの企画を行い、下水道と水環境に関する普及啓発事業を行い、利用促進に努めました。（来館者数：82,645 名 うち団体 428 団体 9,787 名）

平成 29 年度よりネーミングライツパートナーとなったメタウォーター（株）とともに、展示物の充実やイベントを行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 2 日より閉館としました。

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係職員を対象に、下水道に関する知識や技術を高めることを目的に、次に掲げる事業を実施しました。

(ア) 下水道研究報告会

下水道に関する調査研究成果の報告及び、特別講演を開催しました。

開催日：令和元年 7 月 18 日 参加者数：102 名

(イ) 下水道技術講習会

外部から講師を招き、下水道事業に関わる様々な情報を提供する講習会を開催しました。

開催日：令和元年 12 月 17 日 参加者数：98 名

(ウ) 下水道技術研修会

流域関連市町などの下水道関係者を対象とした水質管理や汚泥処理技術、事業場排水監視に関する技術研修会を開催しました。

開催回数 15 回 参加者数：延べ 299 名

(エ) 講師の派遣

中部地方下水道協会主催の技術技能研修へ 6 名の講師を派遣しました。

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県および関連市町から業務を受託し、技術的な支援を行いました。

(ア) 矢作川流域下水道事業のうち施工管理業務（機械・電気設備工事）（愛知県）

(イ) 豊川浄化センター汚泥処理 施設等整備・運営事業の内 運営維持管理業務におけるモニタリング業務（愛知県）

(ウ) 合流改善水質検査業務（刈谷市）

(エ) 日本下水道事業団との連携による県内自治体への技術援助
（尾張旭市、東海市、長久手市）

(3) その他

電力契約方法の見直しによる経費削減

契約方法を随意契約から競争入札へ変更したことにより、電気料金（低圧受電を除く）を削減しました。

平成 31 年度の電気料金は、全 11 流域合計で約 17 億 7,100 万円となり、平成 30 年度の約 19 億 800 万円に対して、約 1 億 3,700 万円のコスト削減となりました。

この金額は汚水流入水量が 2.5%増加した状況での結果であり、汚水 1 立方メートルあたりの料金では、平成 30 年度が 7.57 円に対し、平成 31 年度は 6.86 円とマイナス 0.71 円の削減となりました。

2 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営水道に関連する2つの業務を受託し、実施しました。

ア 機器点検業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び管路の電食防止設備の点検を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1,251)	水 質 計 器 (385 台)	濁度計 91 台、PH 計 108 台 残塩計 107 台、その他 79 台	高蔵寺浄水場 始め 69 施設
	無停電電源装置 (446 台)	充電装置 196 台、蓄電池 196 台 インバータ 54 台	高蔵寺浄水場 始め 132 施設
	電 食 防 止 設 備 (420 基)	整流器 341 基、排流器 31 基 ボンド 48 基	管路 969km
測 定	電 食 防 止 設 備 (2,758 箇所)	管対地電位 2,547 箇所 陽極発生電流 211 箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

水源貯水池である佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	160,798 m ²	草刈 147,314 m ² 、寄植剪定 3,281 m ² 伐竹 10,203 m ²
樹木剪定・植栽撤去	340 本	樹木剪定 327 本、植栽撤去 13 本
希少植物保全管理	1 式	
ダム周辺清掃	54,962 m ²	
水の生活館清掃	1 式	

(2) 排水機場等運営管理事業

県が設置した日光川排水機場始め 6 排水機場及び日光川水閘門の運転操作及び点検整備の業務を受託し、安全かつ確実に実施しました。

区 分		増水運転 操作回数	増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		514 回	40 回	188 時間	32 回
日光川河口排水機場			19 回	88 時間	24 回
筏川排水機場			334 回	854 時間	0 回
蟹江川排水機場			88 回	156 時間	37 回
西中野排水機場			14 回	22 時間	50 回
尾西排水機場			19 回	19 時間	51 回
日光川 水閘門	水 門	2,499 回	368 回		
	閘 門		2,131 回		

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及活動

市町水道職員への水道知識の普及を目的に、水道の課題等に関する講演会及び水道技術に関する基礎研修を開催しました。

催 行	開 催 日	内 容	参 加 者	
講演会	5月27日	「水道法の改正について」 一般社団法人日本水道工業団体連合会 専務理事 宮崎 正信氏	市町の水道職員等 136名	
	8月2日	「豊橋市における水道事業海外協力への取組みについて」 豊橋市上下水道局 浄水課 主査 河合 寿氏	市町の水道職員等 94名	
電気防食 研修	5月17日	電気防食等についての講義、施設点検見学及び実習	県企業庁等の水道職員 19名	
水道技術 基礎研修	10月28日	水道の歴史、浄水処理及び水質管理、送配水管管理等についての講義、実習	市町若手	15名(愛知県内)
	10月29日		水道職員	24名(愛知県内)

イ 水道の啓発活動

県民に水道の大切さや水源保全について理解を深めてもらうため、県等関係機関と連携して、啓発チラシやボトルウォーターを配布するなどの啓発活動を実施しました。

イベント名	実施時期	実施場所	啓 発 対 象 者
リバーサイドフェスティバル	5月5日	木曾三川公園	イベント来場者
水道週間	5月下旬	県内5箇所	通勤・通学者
矢作川清掃活動	11月9日	豊田市	活動に参加した地域住民
佐布里池梅まつり	2月29日	知多市	水の生活館来館者

ウ 水害に関する啓発活動

水害の脅威への意識を高め、その対策への理解を深めてもらうため、排水機場の見学者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する知識の県による啓発活動を補佐しました。